

中央支所レポート⑪ 旭志発見!!

5年未満の職員が、地域や農業、農協について興味・疑問・不思議など「何これ?」と思ったことをレポートします。

今月のリポーターは、

旭志中央支所金融共済課貯金係の田端万里奈さんです。



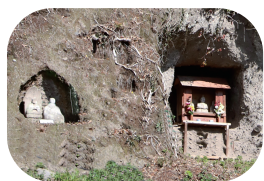
[自己紹介]

入組3年目、貯金窓口を担当。好きな食べ物は焼き肉で、令和5年度に頑張りたいことは筋トレです。泗水町出身で、本所勤務から旭志中央支所になり、旭志に少しずつ馴染んできたところです。旭志の名所を訪ねてみました。



区民の努力と熱意で 公園となった「円通寺」

円通寺は1070年に菊池一族初代の菊池(藤原)則隆公が建立。山城国(現在の京都府南部)より本尊を移し、菊池一族の厚い信仰を受けたといわれていますが後に荒廃となっていました。昭和52年に岩本区民の熱意と努力で公園として整備され、シャクナゲや蓮などが植えられて親しまれる場所になったそうです。境内の88箇所^{えんつうじ}に各2体と、その他に13体の計189体の石仏があり、四国霊場と同じように88箇所巡りのコースも造られています。



石仏

輪石の周りに切石を積み上げ、寄せ棟作りの屋根を載せた唐風の石門。屋根石等が崩れかけていたものを、平成12年度の県事業として復元修復されています。



円通寺石門(熊本県指定重要文化財)

円通寺近くの第二岩本橋です。円通寺の石門に似た飾りがかわいいなと思いました。



第一岩本橋



菊池遺産「姫井橋」(国登録有形文化財)

大正14年(1925)に造られた鉄筋コンクリート製で、日本初の「下路式RCアーチ橋」ということです。初めて牛馬が渡れるようになり、地域では「馬橋(うまばし)」と呼ばれ親しまれてきました。また、長い木材を馬車で運搬するため、河川に対して斜めに掛けることでスムーズに曲がるのが可能となったそうです。現在は使われていませんが、地元の人々の要望により撤去をまぬがれ保存されました。その後「推奨土木遺産」に認定。国土の歴史的景観に寄与しているということから菊池市で初めての「国登録有形文化財」となり、菊池遺産としても登録されています。

※熊本県では、大正末期から昭和戦前期と戦災復興という2つの時期に、コンクリート橋が集中的に架橋。姫井橋以外は、すべて石橋のようにアーチ上部に路面がある「上路式」だったようです。